

# 資料13 移設車両の概要(写真)

## ■外観



■内観





### 別大電車のあゆみ

昭和22年	別府大分間鉄道職員を元大分第一等電車部平塚 治氏が計画	昭和24年7月1日	別府大分電鉄株式会社設立、九州電力電気株式会社より電線事業を分離移譲。
昭和29年8月5日	豊前電気鉄道株式会社を資本金10万円で開催。 (大分交通の前身会社) 初代社長に有馬素治氏が就任する。	昭和49年5月1日	別府線—福岡—北九州—別府間旅客列車廃止。 営業を始める。
昭和33年5月10日	伊予田原線(田原町)の営業として、別府宇都宮(起点)—大分宇都宮(田原町)間7.7キロの営業を始める。	昭和49年7月	盛岡線と別府線に接続する。
昭和35年4月5日	大分宇都宮(田原町)—大分宇都宮(竹町)間 並路線延長し、営業を始める。	昭和59年12月1日	境川—宇都宮間並路線延長し、営業を始める。
昭和37年1月4日	豊前電気鉄道株式会社を設立し、豊前電気鉄道株式会社を継承する。	昭和79年3月3日	豊前線—豊前線間並路線延長し、営業を始める。
大正5年4月1日	九州電力電気株式会社を設立し、豊前電気鉄道株式会社を合併する。	昭和20年4月20日	別府大分電鉄株式会社を母体として、別府大分間並路線、八丁金井が合併し、大分交通株式会社として発足する。
大正6年7月7日	大分市南幹線(竹町入口)—大分市外環(外環交差点) 並路線延長し、営業を始める。	昭和47年4月5日	別府線が近畿鉄道(現JR)大分駅から譲渡を受けて、大分—豊前線16キロに軌道幅を延長し、72年間の歴史の記念を記念、バス事業を中心とする新しい交通輸送の時代を迎える。
大正8年2月24日	大分市外環(外環交差点)—大分市外環(大分駅前) 並路線延長し、営業を始める。	昭和47年6月16日	別大電車車両を大分市に2両、別府市に1両を贈る。
大正10年4月1日	大分市外環(大分駅前)—大分市野家(新川) 並路線延長し、営業を始める。	平成8年11月5日	大分市野家に前に展示していた、電車形改良機、現在地に展示する。
大正11年3月7日	大分市野家(新川)—大分市宝満(かんたん)の新路線に軌道を敷設し、営業を始める。		
大正11年11月25日	志保町(魚崎)から海津線に新設された、田原道上に軌道を移設し、同時に別府宇都宮(別府)間並路線、営業を始める。		

大分交通株式会社

■諸元等(銘板)

